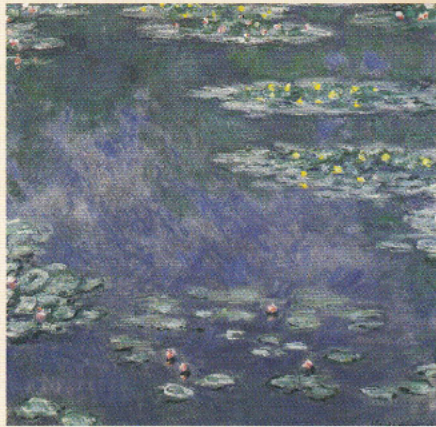


大山崎山荘の おもてなし

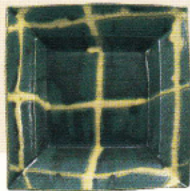
利休、モネの見立てた大茶会

Oyamazaki Villa's Hospitality

— Big Tea Ceremony with Mitate Used by Rikyū and Monet



1



2



3

1.クロード・モネ《睡蓮》1907年 2.濱田庄司《銅緑釉緞抜格子文角皿》1960年頃 3.河井寛次郎《海鼠釉片口》1933年頃

本展は「第26回国民文化祭・京都2011」に協賛して開催されます。当美術館の地元、大山崎町では「大茶会」を国民文化祭のメインテーマとしていますので、茶会での「おもてなし」を自由な展示で表現し、千利休の茶の心である「一期一会」の空間をつくり、新たな楽しみ方を試みます。

当山荘は、かつて、様々な人々をもてなした場でした。また、大山崎町には、千利休が山崎の合戦の折に建てたとされる茶室「待庵」(国宝)が移築、保存されています。こうした茶とおもてなしの歴史や文化に彩られた大山崎の地にふさわしく、山荘のおもてなしの歴史を紹介しながら、当美術館ならではのおもてなしの席を設えます。

本展では、茶器はもちろん、近代絵画、彫刻などの様々な作品をも組み合わせて、「大山崎山荘の茶会」と見立て、「大山崎山荘のおもてなし」を演出します。利休によれば、茶会とは一期一会の場であり、一生に一度の出会いの場です。大山崎山荘での一期一会をお楽しみください。

茶の展示には、二人の芸術家に焦点をあて、それぞれにちなんだ斬新な見立てをご紹介します。ひとりは、大山崎で茶会を開き、「待庵」を残し、わび茶を完成させた千利休です。もうひとりは、当美術館所蔵の名画《睡蓮》を描いた印象派の巨匠、クロード・モネ。パリ郊外ジヴェルニーの自宅に池のある日本風庭園をつくり、睡蓮を育て、これを描き続け、睡蓮の絵画に囲まれた部屋で、人々が安らぎを感じることを期待しました。

利休にちなんだ展示では、茶器とともに、アルベルト・ジャコメッティの彫刻を組み合わせて、新旧の名品の間の緊張感を引き出します。モネにちなんだ展示では、絵画《睡蓮》と河井寛次郎《海鼠釉片口》など日本の陶器を組み合わせて画家の愛する日本の自然を表現し、安息の空間をつくり出します。

大山崎山荘のおもてなしは、山荘の歴史とも関係します。山荘をつくった加賀正太郎は、700人もの招待客による盛大な花見会を催しました。本展では、山荘のかつてのおもてなしの一端も当時の案内図とともに紹介します。

Oyamazaki Villa's Hospitality is related to Big Tea Ceremony which is held in Oyamazaki town in November as a part of the 26th National Cultural Festival in Kyoto. This exhibition represents tea ceremonies and the other various gatherings. Some of the tea ceremonies are seen anew — mitate — by two imaginary artists. One is the legendary tea master Sen no Rikyū who once stayed and held tea ceremonies in Oyamazaki. The other is the most popular impressionist painter Claude Monet. They juxtapose tea bowls and western art works. In the installation named after Rikyū, fresh and unexpected juxtaposition creates the highly-charged atmosphere. In the installation named after Monet, the combination of his painting and Japanese ceramics represents his beloved Japanese nature, which creates his haven. How people were entertained in Oyamazaki Villa in its early years is also introduced in this exhibition.

関連イベント

参加型展示「わたしならこう使う」

期間：展覧会会期中

本館2階展示室の作品の中から好きな作品を選んで、自由な発想で新しい用途を提案してください。参加者には記念品を進呈します。いただいたご提案の一部は館内やブログにて発表します。

「大山崎秋茶会」(中国茶会)

日時：2011年10月8日(土)、9日(日) 10:30～16:30 (受付終了15:30)

会場：美術館庭園及び茶室 (通常非公開)

参加費：1000円(税込、お菓子・お土産付〔各日先着150名〕、美術館入館料は別途必要です)

参加受付：予約は不要です。お気に入りの猪口くらいの大きさの茶杯をお持ちになってご参加ください。

主催：アサヒビール大山崎山荘美術館

共催：中国茶会・無茶空茶

問合先：06-6361-6910 中国茶会・無茶空茶

「ギャラリートーク」(学芸員による展示のみどころ解説)

日時：10月16日(日)、29日(土)、11月26日(土)、12月4日(日)、17日(土)、25日(日)、1月9日(月・祝) 各日14:00～14:30

定員：20名

参加費：無料(入館料は別途必要です)

参加受付：不要。当日時間までに当美術館受付にお越しください。



4

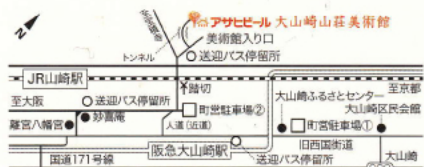


5



6

4.アルベルト・ジャコメッティ《ベニスの婦人Ⅷ》1956年 © Succession Giacometti / ADAGP, Paris & SPDA Tokyo, 2011
5.濱田庄司《灰釉鉄絵茶碗》1960年代
6.ルーシー・リー《磨岩釉花器(マーブル)》1980年代 Estate of the artist



JR京都線「山崎駅」、
阪急京都線「大山崎駅」より徒歩約10分

*山崎駅前、大山崎駅前より、お身体のご不自由な方、
ご高齢の方優先の無料送迎バスを定期的に運行しております。

*美術館に駐車場はございません。

JR踏切脇または大山崎ふるさとセンター隣の町営駐車場(有料)をご利用ください。

アサヒビール
大山崎山荘美術館

〒618-0071 京都府乙訓郡大山崎町銭原5-3

TEL:075-957-3123 (総合案内)

http://www.asahibeer-oyamazaki.com